

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： RNA 修飾が創発する生命原理の理解と応用
2. 研究代表者： 魏 范研（東北大学 加齢医学研究所 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、細胞外修飾ヌクレオシドの産生・排出機序の解明と修飾ヌクレオシドの生理作用の解明を行い、修飾ヌクレオシドによる疾患治療及び診断への応用を目的としている。

フェーズ1では、「修飾ヌクレオシド生理学」の創発を目指して、修飾ヌクレオシドの産生・排出機構、作動原理・生理機能、疾患応用の観点で展開した。修飾ヌクレオシドの蓄積機構を見出してその病態学的意義について明らかにした点は高く評価できる。フェーズ2の研究計画では、さらなる掘り下げとマウスモデルや患者検体を用いるなどによって、より病態生理に迫り、修飾ヌクレオシドの細胞外での役割・機能解明に加えて疾患やバイオマーカーへの応用を期待する。

以上